

AMCoR

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川医科大学研究フォーラム (2009.03) 9巻1号:95～96.

学会の動向
第17回日本臨床環境医学会学術集会を終えて

高後 裕

学界の動向

第17回日本臨床環境医学会学術集会を終えて

高 後 裕*

2008年7月4日(金)および5日(土)の2日間にわたって、第17回日本臨床環境医学会学術集会が旭川で開催されました。

日本臨床環境医学会は、環境と疾患のかかわりに関する研究の発展を促進し、疾患の予防と治療に努めるために設立された学会です。その研究分野は中毒、アレルギー、内分泌、自律神経など多分野にまたがり、環境問題と臨床医学の接点を主題としています。そのため、医療関係者のみではなく、他領域の人材を含めた幅広い学会の創造を目標としています。

その日本臨床環境医学会の記念すべき第1回の学術集会は、今回と同じ北海道の旭川市で開催されました。今回はそれから数えて第17回目となり、4年ぶりに旭川での開催となりました。

本学術集会は、これまでに環境ホルモン、シックハウス症候群など、社会で大きな問題となった環境と健康に関する諸課題に対して、臨床医学・社会医学・基礎医学・行政・環境や建築に関わる企業など、幅広い分野に所属する多くの医師・研究者等が一堂に会して情報交換を行ってきた、極めて学際的な場になっています。第1回学術集会の開催から、本学会から発信された情報が、それらに関する研究と諸問題の解決に多くの寄与をしてきたことは言うまでもありません。

本年度の第17回学術集会のメインテーマは、「環境と疾患の関わりを考える」というものでした。北海道の旭川での開催にもかかわらず、東京をはじめとした全国からの参加をいただき、この2日間で約100名もの参加者を迎え、活発な議論が交わされました。

シンポジウムは、旭川医科大学健康科学講座の吉田貴彦教授と、本学会の立ち上げにご尽力された北里大

学の石川哲名誉教授の司会によって、「臨床環境医学の近未来」と題して行われました。「新しい環境中物質、繊維・粒子状物質による生体影響へのアプローチ」、「環境化学物質によるアレルギー疾患の増悪」、「シックハウス症候群への適切な対応をめざして」、「健康快適な室内環境づくりをめざした臨床環境医学における学際的研究」といった内容が取り上げられ、各分野の最先端の情報を御講演いただき、それらに対して活発な意見交換が行われました。

特別講演としては、徳島大学から曾根三郎先生をお招きし、アスベストとの関係を含め最近社会的にも非常に注目度の高い「悪性胸膜中皮腫」に関して御講演をいただきました。悪性中皮腫の臨床的な特徴から、今後の分子学的レベルでの治療戦略について、多岐にわたり解説していただきました。

一般演題は2日間にわたって計32題の発表がなされました。非常に幅広い分野からの演題でありましたが、演題毎に活発な議論が繰り広げられました。毎回のことながら、議論に熱が入り、時間に追われながらの発表もしばしばでした。改めて本学会が携わる分野が極めて広いことを再認識させられました。

7月5日(土)の午後には、学術集会に引き続いて「市民公開講座」が開催されました。北里大学大学院薬学研究科公衆衛生学講座・教授の坂部貢先生に司会をお願いし、「住まいの環境と健康一体によい家、わるい家」と題して、「シックハウス症候群：過去と現在」、「居住環境とアレルギー」、「室内光環境と健康増進・知的生産性の向上」について各分野の第一人者の先生方から御講演をいただきました。休日の午後にもかかわらず、多くの一般の方に聴講に来ていただき、なか

*旭川医科大学 内科学講座（消化器・血液腫瘍制御内科学分野）

には2時間程度かけて旭川まで来られている方もおられ、居住環境の問題に対する関心の高さがうかがわれました。

講演内容も非常に身近な話題に則った内容で、環境と人、またそれらに対する環境医学との関わりについて、非常にわかりやすく、また時に面白く解説していただきました。

近年、本学会が関与する諸課題はますます多くなってきており、それらへの社会的関心も高まっている印象を受けた2日間でありました。来年度以降も本学術

集会によって様々な分野の研究者達が幅広く情報交換を行い、少しでも多くの問題解決につなげ、社会的に貢献をしなくてはならないと改めて気持ちを奮い立たせる学術集会となりました。

来年度の第18回の学術集会は、2009年7月3日(金)と4日(土)の2日間にわたって、川崎医科大学衛生学の大槻剛巳教授を会長として岡山市の山陽新聞社本社ビル・さん太ホールにて開催されることが決定しています。さらに多くの皆様の参加を心より期待しています。